

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	多機能型事業所Uru		
○保護者評価実施期間	令和6年4月1日		令和7年2月28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	2名	(回答者数) 1名
○従業者評価実施期間	令和6年4月1日		令和7年2月28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4名	(回答者数) 4名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年3月20日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	●小集団での支援の為、1人1人に目が行き届ききめ細やかな支援が提供できることが強みです。また、長期休暇では異年齢交流や地域の児童が集まる施設がある為交流を図る事が容易です。	●長期休暇等は、サービス提供時間が異なる為、保護者へ送迎をお願いすることや地域を限定することで利用を可能にしている。しかし、送迎を組む労力が負担だと感じることも多い。しかし、並行利用先にも理解を得て療育が実施できるようにしている。	●引き続き小集団での支援に取組み、適宜サービス提供時間等を見直していきます。地域限定ではない支援もしやすいにしていきたい。
2	●他職種在籍のため、地域で過ごしている医療的ケア児の受け入れが可能である。	●インクルージョンの実現のために、地域で過ごすためにはどうすれば良いかを念頭に自己管理の方法の提示等総合的な観点より支援している。病院等とのやりとり等含めて専門職が密に連携を図り支援している。	●専門職の人材育成を図っていく。専門職となると、業界の違いもあり入職が難しく福祉の仕組みを把握するのは容易ではない。研修制度を導入したことにより福祉への理解を深め専門職ならではの強いを活かせる取組みを作っていく児童、職員がより豊かな生活と支援ができるよう努めていきたい。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	●長期休暇中の活動が制限されることが多い。	●多機能型として、長期休暇中は保護者の就労の観点より営業時間開始より延長加算を用いて支援を実施している。しかし、未就学の児童の活動に制限されることも	●児発との兼ね合いもあり、活動の制限がかかることもある。しかし、時間を有効活用するし見通しを持ちながら取り組んでいるが難しい場面も多々あるため、サービス提供時間の変更や地域資源(児童クラブ等)を活用し地域の児童とも触れ合う時間を持てるように工夫していく必要があると感じる。
2	●屋外での活動を実施する事が難しい	●構造上屋外での活動が難しい事がある。しかし、近隣に公園や児童館があるため活用できるが時間を確保する事が難しい。できるだけ、屋内にて全身を使った活動ができる様になっているが難しい場面も多々ある。	●長期休暇等を利用して同法人内の放課後等デイサービスに訪問するなどして屋外での活動ができる様に活動内容を工夫していく。学年が上がると下校時間が遅くなるためある程度の線引きも必要になってくる可能性があることを周知していきたい。
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名		多機能型事業所 Uru						公表日 年月日	
		利用児童数				2名	回収数		1枚
	チェック項目	はい	どちらとも いいえ	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応		
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	1						
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	1						
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	1						
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	1						
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	1						
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	1						
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	1						
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	1						
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	1						
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	1						
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。				1		●ご意見ありがとうございます。児童クラブや児童館との交流を図っておりましたが、時間の確保が難しいこともあり難しいことでもありますので長期休暇に交流ができるように設定いたします。	
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	1						
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	1						
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	1						
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	1						
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	1						
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	1						
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。				1			

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	1				
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	1				
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	1				
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	1				
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	1				
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	1				
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	1				
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	1				
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	1				
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	1				
	29	事業所の支援に満足していますか。	1				

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	多機能型事業所Uru		公表日 令和7年3月20日			
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4			・放デイの人数が少ない事もあり、スペースとしては十分確保できているように思う。しかし、ボール遊び等の身体を動かすものに関しては難しい面もある。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	3	1	・建物の構造上、構造化されているかは難しい所があるが、工夫する事で配慮を行っている。 ・柱等があるが注意を向けて活動できる利用児	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	3	1	・個別の部屋自体がないので難しい所もある。その時の状況次第で場所を確保している。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	4			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	1		・どこまでできているか私自身が把握していない
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	3	1	・全体研修の時間をとることは難しいが、必要な研修がある際は参加できるよう配慮してもらっている。	
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	4			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4			
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4		・どの程度しっかりと利用しているのかを問われると「これで良いのか？」と思うが、アセスメント等を確認しながら行っているとは思っている。	●ご意見ありがとうございます。事業所のアセスメントツールを使用しております。必要に応じて検討していきます。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	3	1		・利用児本人に考えてもらったり、話し合っ て決めてもらう事もあるので、一概にそうとは言えない

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4		・利用児がしたいものが続く時には、他を提案している。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	4		・利用児がしたいものが続く時には、他を提案している。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4		・必要に応じてその都度、情報共有したり振り返りを行っている。	・お互いに気づけない所を知る事ができるので繰り返し行っていけたらと思う。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4			
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4		・6カ月毎にモニタリングを実施	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	4			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	4			
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4			
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	4			
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	4			
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	3	1		●関わっていないので不明。対象年齢がない。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	1	3		・担会等での情報共有は行っているが、時間的にも研修やスーパーバイズについての機会を設けるのは難しい
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	4		・地域の他の子どもとの活動には難しさはあるが、長期休みの際等に児童館を利用することはある	・児童館へ行く機会を増やしていきたい。 ・回数が減ってしまったため、今後増やしていきたい
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	2	2		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4			
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	1		・面談や相談時にアドバイスや情報提供は行うが、研修の機会は設けていない ●保護者様の就労等を考慮して研修等は実施しておりません。行事の際に療育に使用しております教材等の教示等、支援内容を考察しながら提供しております。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	4			

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4				
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	2	2	・参観日の機会を設け保護者が集まり、話しやすい場を提供している。	・参観日での保護者同士の交流を図る機会を設ける事はあってもきょうだい同士で交流する機会等は設けていない	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4				
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	4				
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4				
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4			・ウルでの状況等の説明についてはLINEにて行っている	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	3			・時間の限りから地域を巻きこんでの行事等は行っていない
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4				
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4				
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	4				
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4				
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4				
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4				
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4			・ヒヤリハットを記入するような事案が起こっていない。何かあれば随時話し合いを行う。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4				
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	4					